



各館情報

なまえ	ところ	でんわ
①みよし市立歴史民俗資料館	みよし市三好町陣取山 44-1	0561-34-5000
②豊田市民芸館	豊田市平戸橋町波岩 86-100	0565-45-4039
③岩崎城歴史記念館	日進市岩崎町市場 67	0561-73-8825
④知立市歴史民俗資料館	知立市南新地 2丁目 3-3	0566-83-1133
⑤刈谷市歴史博物館	刈谷市逢妻町 4-25-1	0566-63-6100
⑥瀬戸蔵ミュージアム	瀬戸市蔵所町 1-1	0561-97-1190
⑦とこなめ陶の森 資料館	常滑市瀬木町 4-203	0569-34-5290
⑧東海市立平洲記念館・郷土資料館	東海市荒尾町蜂ヶ尻 67 番地	052-604-4141
⑨大府市歴史民俗資料館	大府市桃山町 5丁目 180-1	0562-48-1809
⑩知多市歴史民俗博物館	知多市緑町 12-2	0562-33-1571
⑪半田市立博物館	半田市桐ヶ丘 4-209-1	0569-23-7173
⑫東浦町郷土資料館(うのはな館)	知多郡東浦町大字石浜字桜見台 18-4	0562-82-1188
⑬安城市埋蔵文化財センター	安城市安城町城堀 30 番地	0566-77-4477
⑭西尾市岩瀬文庫	西尾市亀沢町 480	0563-56-2459
⑮西尾市資料館	西尾市錦城町 229	0563-56-6191
⑯蒲郡市博物館	蒲郡市栄町 10-22	0533-68-1881
⑰幸田町郷土資料館	額田郡幸田町大字深溝字清水 36-1	0564-62-6682
⑱三河天平の里資料館	豊川市八幡町忍地 127-1	0533-88-5881
⑲豊橋市文化財センター	豊橋市松葉町 3-1	0532-56-6060

※⑱豊橋市文化財センターは、⑩で出張展示します。シールは⑩と同一です。
 ※⑤刈谷市歴史博物館、⑨大府市歴史民俗資料館は、7月22日より開始します。

あつめよう！
愛知やきもの図鑑！

各館では、シールのほかに、展示しているやきものを解説した「愛知やきもの図鑑」を配布しています。ぜんぶあつめると、ちょっと良いコトがあるかも！



愛知やきもの歴史

家康の時代のやきもの

自由研究にもおすすめ

あなたはどんな「やきもの歴史」に出会えるかな？
色いろなやきものをみて、しらべて、考えて、自分なりにまとめてみよう！

令和5年
7月15日(土)
～9月10日(日)

※参加施設の詳しい情報は、ウラ面をご覧ください。
各館ごとに開館日、開館時間が異なります。
ご確認のうえ、お出かけください。



○ さなげブロック
□ ちたブロック
△ みかわブロック
どこからめぐってみようかな？

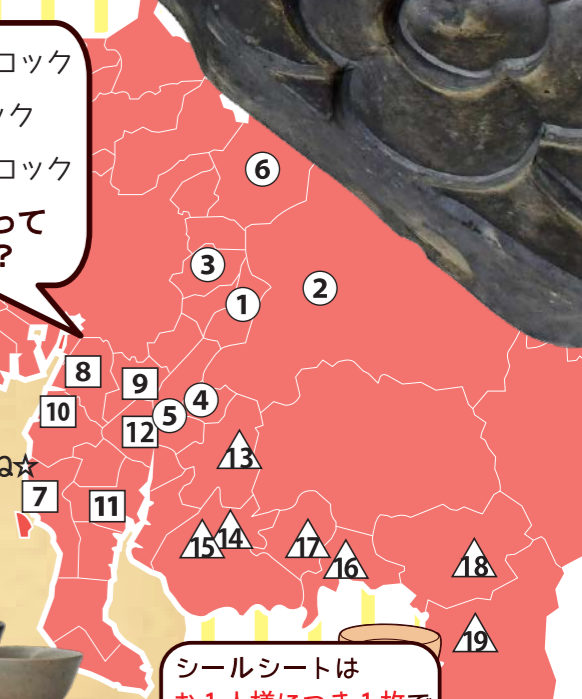
シールラリー開催!!

今回のやきもの歴史は、某ドラマにのっかって「家康の時代のやきもの」！家康の時代、徳川の時代に、どんなやきものがあったのかな？県内各地のやきもの歴史を追いかけよう！対象施設をめぐって、素敵なプレゼントをゲットしてね☆

3館賞
お好きな3館をめぐって、3つのスタンプをあつめると、「3館賞」をプレゼント！賞品は、各館で用意しています。
賞品：クリアファイル、勾玉製作キット、展覧会招待券など、各館で異なります。
※賞品内容は、各館にお問い合わせください。

愛知のやきもの賞
「さなげ」「ちた」「みかわ」3つのブロックに分けられた対象施設をめぐり、やきものをみてシールを集めて、いずれかのブロックでパーフェクトを達成すると、「愛知のやきもの賞」をプレゼント！
賞品：常滑窯産ぐい呑みセット（抽選20名様、賞品は期間終了後、最寄りの館にてお渡しします。）

パーフェクト賞
対象施設すべてをめぐり、やきものをみてシールを集めてパーフェクトを達成すると「パーフェクト賞」をプレゼント！
賞品：猿投窯産皿、常滑窯産壺（不調水指）
（抽選5名様、賞品は期間終了後、最寄りの館にてお渡しします。）



シールシートはお1人様につき1枚でお願いいたします。



さなげ

ちた

みかわ

①みよし市立
歴史民俗資料館

②豊田市民芸館

⑦とこなめ陶の森
資料館

⑧東海市立平洲記念館・
郷土資料館

⑬安城市
埋蔵文化財センター

⑭西尾市岩瀬文庫

③岩崎城歴史記念館

④知立市歴史民俗資料館

⑨大府市歴史民俗資料館

⑩知多市歴史民俗博物館

⑮西尾市資料館

⑯蒲郡市博物館

⑤刈谷市歴史博物館

⑥瀬戸蔵ミュージアム

⑪半田市立博物館

⑫東浦町郷土資料館
(うのはな館)

⑰幸田町郷土資料館

⑱三河天平の里資料館

※⑱豊橋市文化財センターは、
⑱で出張展示しています。
⑱⑲は同一シールになります。

縄文時代のやきもの
縄文時代には各地で地域色豊かな縄文土器が作られ、他の地域の土器の形や作り方に影響を与えていました。愛知県がある東海地方は、東は関東地方、西は関西地方、北は中部地方と北陸地方に接しているため、これらの地方の影響を受けた土器が多く見られます。縄文時代の東海地方では、日本列島各地の文化が行き交っていたことがわかります。

弥生時代のやきもの
紀元前4～3世紀（一説には紀元前10世紀）ころ、大陸から北部九州にコメ作りが伝わりました。これにより、日本は食物を獲る時代から作る時代へと変化しました。土器も、たくわえるための壺や炊く甕が多く作られ、他にも盛り付ける高坏や鉢が使われるようになりました。

古墳時代のやきもの
弥生土器を引き継ぐ土師器と、新たに朝鮮半島から技術が伝わった須恵器があります。土師器は各地で作られますが、須恵器はより高い温度で焼くための窯が必要で、製作地は限られます。新来の須恵器は様々な形を生み出し、装飾豊かなものも多くあります。古墳に並べられる埴輪は、筒形の他、家形や動物形、人形等が作られました。

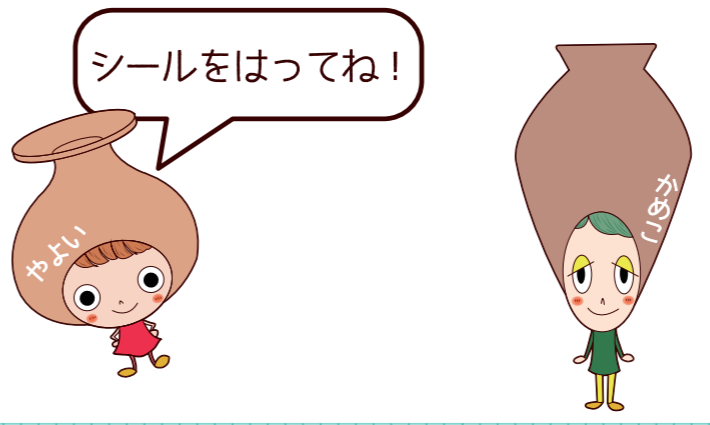
古代のやきもの
古墳時代に伝わった須恵器は、その後もたくさん作られ、奈良時代になると愛知県は猿投窯をはじめとする、やきもの一大生産地となりました。さらに平安時代になると、淡緑色をした緑釉陶器や灰釉陶器といった高級な陶器を作るようになります。これらの陶器は、当時の都をはじめ全国各地に運ばれていきました。

中世のやきもの
平安時代後期から東海地方の各地で山茶碗の生産が行われました。鎌倉時代になると、山茶碗の生産をベースとして瀬戸窯で施釉陶器、常滑・渥美窯で壺・甕・鉢を主体とした焼締陶器の生産が開始されます。特に、瀬戸窯は国内で唯一の施釉陶器を生産した窯として有名で、常滑窯とともに中世を通して生産が行われていきました。

近世のやきもの
中世に引き続き、瀬戸窯・常滑窯が大きな産地です。瀬戸窯では筆で絵の描かれたやきものが盛んに作られますが、19世紀にはそれまでの陶器に加えて磁器がつくられるようになります。常滑窯では甕等の大物が主力ですが、19世紀には急須や茶道具等も作られ始めました。他に名古屋等、各地で様々なやきもの産地が生まれました。

近代のやきもの
明治時代以降、海外向けの陶磁器生産が大きく進展してきます。それと共に、西洋からの新技術の導入、生産工程の工業化、鉄道網の整備や名古屋港の開港、貿易商社の集結といった、やきものの生産・流通・販売などの各方面で近代化されていきました。その一方で、陶芸という美術工芸の分野が芽生え、発展していきました。

愛知の歴史



記念品交換チェック欄

○ ○ ○ 3館賞 ※3つまで
おつかねさまでございます

愛知のやきもの賞
誠にありがとうございます

- さなげブロック
- ちたブロック
- みかわブロック

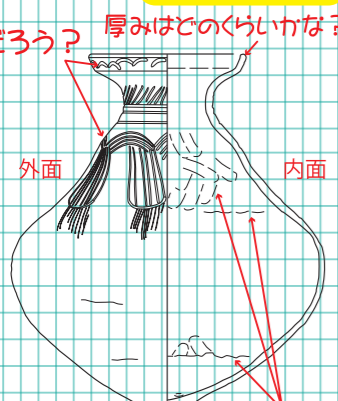
パーフェクト賞



心から、感謝申し上げます

注目ポイント

たとえば...弥生土器(実測図)



どんな道具で
モようを
つけたんだろう?

厚みはどのくらいかな?

どんな方法で、どんな道具で
この形になるようつくれたのかな?



- memo -

むかし 5000 縄文 2500 文 1000 500 400 代 300 弥生 200 生 100 紀元前 0 紀元後 100 代 200 300 古墳 400 500 600 代 700 奈良 800 900 平安 1000 1100 鎌倉室町・戦国 1200 代 1300 1400 1500 代 1600 1700 江戸時代 1800 1900 近代 2000 いま